

「京都市アプリ基盤構築業務委託」に係る質問事項への回答について

質問 1

(質問箇所) 仕様書 第 2-2-(3) ア	質問 内容	本項で指すマニュアルとは、製品マニュアルの提出をする想定でよいでしょうか。
	回答	アプリ基盤利用マニュアルは、業務システムの開発業者がアプリ基盤の各機能を利用するための詳細な手順を記載する必要があります。このため、技術支援業者と調整のうえ、本市が受託者に提供する本市開発標準に則したマニュアルを作成してください。 アプリ基盤運用マニュアルについても同様です。詳細については、仕様書 39 ページに記載の成果物を参照してください。

質問 2

(質問箇所) 仕様書 第 2-3-(2) ウ	質問 内容	原課独自システムとして想定されるシステムと共同利用を想定される機能を御教示ください。
	回答	認証機能について、戸籍システム、生活保護システム、子ども子育て支援システム、課税支援システム及び滞納整理支援システムが共同利用することを想定しています。その他の機能については、未定です。

質問 3

(質問箇所) 仕様書 第 3-1-(2) イ	質問 内容	「平常業務の画面レスポンスは 3 秒以内」との記載がありますが、本調達において提供する画面（認証画面、ポータル画面）のレスポンス速度を確保することが必要という認識でよいでしょうか。
	回答	本調達において提供する画面のレスポンス速度を確保することが必要です。

質問 4

(質問箇所) 仕様書 第 3-1-(3) ア	質問 内容	ハードウェア障害等、本調達範囲外の要因は除いた上で 99.99%の業務継続を目標とする、という認識でよいでしょうか。
	回答	本調達範囲外の要因は除いたうえで 99.99%の業務継続を指標とします。

質問 5

(質問箇所) 仕様書 第 3-1-(3) ウ	質問 内容	外部媒体へのバックアップは本調達範囲外でよいでしょうか。
	回答	データバックアップを取得する仕組みの構築は本調達に含みます。ただし、テープ装置等の機器導入については、本調達に含みません。

質問 6

(質問箇所) 仕様書 第 3-1-(4) ア	質問 内容	ブラウザソフトは Internet Explorer を想定すればよいでしょうか。
	回答	仕様書に記載のとおり、マイクロソフト社が提供する標準ブラウザで正常動作することが必要です。

質問 7

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1)	質問 内容	現在の文字管理の方法を御教示ください。(標準文字コード、外字登録及び管理の製品等) また、京都市 mj 明朝の仕様がわかる資料又は準拠しているフォント(例えば、IPAmj 明朝) 情報を提供いただくことは可能でしょうか。
	回答	現在の基幹業務システムは汎用機上で稼働しており、文字管理システムは存在しません。 京都市 mj 明朝は IPAmj 明朝に準拠しており、IPAmj 明朝のフォント等の情報については、独立行政法人情報処理推進機構の文字情報基盤整備事業に係る Web サイト (http://mojikiban.ipa.go.jp/) からダウンロードすることが可能です。

質問 8

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1)	質問 内容	現在の文字管理が集中管理の場合は、管理システム外からの参照・配布方法はどのようになっていますでしょうか。(クライアント・サーバ双方)
	回答	現在の基幹業務システムは汎用機上で稼働しており、文字管理システムは存在しません。

質問 9

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1)	質問 内容	現在追加登録している外字数はどの程度でしょうか。
	回答	汎用機で取り扱う外字は、約 2,000 字あります。

質問 1 0

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1)	質問 内容	「異なる文字コードを持つシステム間での文字変換について、文字基盤は各システムの文字コード情報を共通データとして提供するのみで、変換は行わない」という認識でよいでしょうか。
	回答	文字基盤は変換テーブルを提供するのみで、変換は行いません。

質問 1 1

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1) ア	質問 内容	「京都市版 mj 明朝」フォントは固定ピッチフォントでしょうか。
	回答	固定ピッチフォントのみ使用します。

質問 1 2

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1) ウ-(イ)	質問 内容	「基幹業務システム及び住基ネットで使用する文字コードとの対応表を作成」の入力となる「文字同定作業後のマッピング情報」とは、以下の 2 種類のマッピング情報という認識でよいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・既存基幹業務システム(JIPS)-京都市 mj 明朝 ・既存基幹業務システム(JIPS)-住基ネット統一文字コード
	回答	質問に記載された 2 種類のマッピング情報を提供します。

質問 1 3

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1) ウ-(イ)	質問 内容	「対応表」とは、コード変換機能が使用する変換テーブルを指すものという認識でよいでしょうか。それとも、人間が見やすい表形式の資料を指しますでしょうか。 また、人間が見やすい形式である「対応表」の場合、「文字同定後のマッピング情報」として、以下についても提供されるという認識でよいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・京都市 mj 明朝と組み合わせる TrueType 外字ファイル（京都市 mj 明朝作成時に合わせて京都市が作成する認識） ・既存基幹業務システムで利用する TrueType 外字ファイル
	回答	コード変換機能が使用する変換テーブルとともに、人間が見やすい表形式の資料を作成してください。 なお、京都市が作成した外字ファイル及び当該外字に係る JIPS と京都市 mj 明朝との対応表を本市から受託者に提供します。（受託者が作成する必要はありません。）

質問 1 4

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(1) ウ・(イ)	質問 内容	「文字同定作業後のマッピング情報」との記載について、文字同定作業時に京都市 mj 明朝-住基ネット統一文字コードとの対応表を作成されていると推察しますが、それらの情報を基に、「文字同定作業後のマッピング情報」を「対応表」に整形する、という認識でよいでしょうか。
	回答	本市が提供するマッピング情報から対応表を作成してください。 なお、質問 1 3 の回答のとおり、京都市作成外字に係る JIPS と京都市 mj 明朝との対応表も提供します。

質問 1 5

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2)	質問 内容	汎用機 (ACOS の表記あり) から Open Gate に送る際のデータ形式 (文字コードと印刷制御情報) を御教示ください。
	回答	汎用機から Open Gate までは独自形式でイメージデータを連携していますが、当該連携については本調達の範囲外となります。

質問 1 6

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2)	質問 内容	「現基幹業務からの印刷は Open Gate のみを利用し、帳票基盤に現印刷データをそのまま送ることではない。新基幹業務システムからは csv 形式でデータを受け取り、帳票データとの組み合わせで印刷を行う。」という認識でよいでしょうか。
	回答	汎用機から帳票基盤にデータを送信することはありません。また、新基幹業務システムからの印刷については、全て、csv 形式のデータを送信する方式となります。

質問 1 7

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2)	質問 内容	帳票作成機能はウィングアーク 1st 社 SVFX-Designer を採用するという記載がありますが、印刷管理機能 / スプール制御機能 / 電子帳票作成機能を実現するために採用する製品は決定していますでしょうか。 また、製品のライセンス費用は、本調達に含まれていますでしょうか。
	回答	製品の指定はありませんが、仕様書に記載の各帳票機能において、SVFX-Designer で作成した帳票を効率的に利用できる必要があります。また、ライセンス経費が発生する製品を利用する場合は、当該経費は本調達に含みます。

質問 18

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2) ア-(イ)-②	質問 内容	Active Directory との連携について、どの情報を取得し、どのように扱うことを想定されていますでしょうか。
	回答	プリンタの情報（プリンタ名、IP アドレス及びポート番号）を AD に保有しているため、当該情報を AD から取得し、帳票基盤でのプリンタ制御（出力先プリンタの選定、ホップ指定及び印刷時の設定）及びログ取得等に利用することを想定しています。

質問 19

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2) ウ-(イ)	質問 内容	既存の Open Gate の作業が発生した場合、Open Gate の保守業者へ作業を委託する必要があると認識していますが、その費用は本調達内で見込む必要があるという認識でよいでしょうか。その場合、保守業者の業者名と連絡先を御教示ください。
	回答	Open Gate の作業が発生する場合、当該作業に係る経費は本調達に含みません。

質問 20

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2) ウ-(ウ)	質問 内容	帳票基盤ではプリンタに送信する印刷データの作成を行います。プリンタの排紙枚数が最大で 60,000 ページ/1 時間のため、1 時間当たりに必要な印刷データの作成枚数は以下のとおりで問題ないでしょうか。 バッチ：60,000 ページ/1 時間 なお、印刷データ作成中はプリンタから排紙ができませんが、問題ないでしょうか。
	回答	バッチ処理での印刷データの作成枚数について、最大 60,000 ページ/1 時間で問題ありません。 なお、作成中の印刷データをプリンタから排紙する必要はありませんが、印刷データ作成中に、既に作成した別のデータをプリンタに転送又はプリンタから排紙する必要はあります。

質問 21

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2) ウ-(ウ)	質問 内容	印刷量：約 60,000 枚/1 時間について、1 枚当たり 1 ページ（約 60,000 ページ/1 時間）の前提でよいでしょうか。 また、電子化（PDF 化）する枚数・ページ数は上記に含まれるのでしょうか。もし、別の場合は電子化（PDF 化）についての同等の指標を御提示ください。
	回答	1 枚当たり 1 ページの前提で結構です。また、電子化する帳票枚数についても、同数とします。

質問 2 2

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2) ウ-(ウ)	質問 内容	帳票基盤ではプリンタに送信する印刷データの作成を行います。1 時間あたりに必要な印刷データの作成枚数は以下のとおりで問題ないでしょうか。 オンライン：30,000 ページ/1 時間
	回答	オンライン処理での印刷データの作成枚数について、最大 30,000 ページ/1 時間で問題ありません。

質問 2 3

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(2) ウ-(ウ)	質問 内容	プリンタ側の排紙速度が遅いことにより、印刷基盤全体の速度低下につながることから、排紙も含めた負荷検証（バッチ、オンライン）を実施する必要があるという認識でよいでしょうか。
	回答	負荷検証の実施は必須です。検証内容の詳細については、成果物（テスト計画書及びテスト仕様書）に記載してください。

質問 2 4

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(3)	質問 内容	人事情報・異動情報のデータ形式を御教示ください。
	回答	CSV 形式を想定しています。

質問 2 5

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(3) ア-(ウ)	質問 内容	IC カード認証機能を実装するためのツール（製品）は決定していますでしょうか。また、該当製品のライセンス費用は本調達に含まれていますでしょうか。
	回答	製品の指定はありません。また、ライセンス経費が発生する製品を利用する場合は、当該経費は本調達に含みます。

質問 2 6

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(4)	質問 内容	ポータルの実装において、メンテナンス性や管理者によるメニュー修正等の操作性の観点からマイクロソフト社が無償で提供する SharePoint Foundation を採用し、実装する案を検討していますが、製品に対しメーカーが 10 年間のサポート提供を許容していません。構築ベンダー側で製品の稼働を保障できない場合、同様の製品の採用は控えるべきでしょうか。
	回答	仕様書 7 ページに記載のとおり、10 年間のサポートは必要要件です。利用製品のバージョンアップにより同等機能が保証できるのであれば、採用いただいても結構です。

質問 2 7

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(5)	質問 内容	共通データの実装は Oracle や SQL Server 等のリレーショナルデータベースの利用が前提という認識でよいでしょうか。
	回答	RDB の利用を前提としていません。

質問 2 8

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(5)	質問 内容	他システム（基幹業務システム及び将来的な新規システム）は、リアルタイムにデータを参照する想定でしょうか。 また、リアルタイムにデータを参照する場合、他システムアプリからの接続方法は標準化されていますでしょうか。（ JDBC 等）
	回答	リアルタイムにデータを参照する予定はありません。

質問 2 9

(質問箇所) 仕様書 第 3-3-(6)	質問 内容	IC カード発行管理を行うために必要な機器（発行作業用マシン及び IC カードライター等）の費用は本調達に含まれていますでしょうか。
	回答	IC カード発行管理を行うために必要な機器の費用は本調達に含みません。

質問 3 0

(質問箇所) 仕様書 第 3-4-(1)	質問 内容	「中間サーバとの連携に係るアプリ基盤提供機能の拡張及び共通データを変更する必要がある場合、アプリ基盤構築中は柔軟に対応できること」という記載がありますが、設計について承認いただいた以降の仕様変更については、双方協議のうえ、対応費用及び実施可否を御相談させていただくという認識でよいでしょうか。
	回答	機能の拡張については、本市及び受託者との協議のうえ対応可否等を決定しますが、契約期間内の共通データ追加については、仕様書 27 ページに記載のとおり、全て本調達の範囲に含まれます。

質問 3 1

(質問箇所) 仕様書 第 3-4-(2)	質問 内容	「アプリ基盤を利用する各基盤業務システムの開発作業に伴い、共通データを変更する必要がある場合、アプリ基盤構築中は柔軟に対応できること」という記載がありますが、設計について承認いただいた以降の仕様変更については、双方協議のうえ、対応費用及び実施可否を御相談させていただくという認識でよいでしょうか。
	回答	契約期間内の共通データの追加については、仕様書 27 ページに記載のとおり、全て本調達の範囲に含まれます。

質問 3 2

(質問箇所) 仕様書 第 3-4-(3)	質問 内容	「クライアント数及びシステム接続範囲が増えても」との記載がありますが、「第 2 4 (2) システム利用に関する規模」に記載の規模を超える場合や、その範囲内であっても契約期間の終了後にライセンスの追加又はシステムの設定変更等が必要な場合は、別途契約のうえ、対応させていただく認識でよいでしょうか。
	回答	「クライアント数及びシステム接続範囲が増えても」とは、仕様書 5 ページに記載の規模を超える場合を意味します。ライセンスの追加経費が発生する場合は、契約期間内であっても、当該経費は本市が負担します。また、システムの設定変更が発生する場合は、契約期間内であれば本調達の範囲に含まれますが、契約期間終了後は、別途契約を行います。

質問 3 3

(質問箇所) 仕様書 第 4	質問 内容	共通データの実装が Oracle や SQL Server 等のリレーショナルデータベースの利用が前提となっている場合, 採用される DB 製品は決定されていますでしょうか。 また, DB 製品のライセンス費用は本調達範囲に含まれていますでしょうか。
	回答	RDB の利用を前提としていません。

質問 3 4

(質問箇所) 仕様書 第 4	質問 内容	共通データに対するインターフェイス仕様の策定は本調達範囲に含まれていますでしょうか。 または, 業務システム側から提示される想定でしょうか。
	回答	基幹業務システムの開発支援業務 (仕様書 30 ページ) に含まれます。

質問 3 5

(質問箇所) 仕様書 第 4	質問 内容	共通データのインターフェイスを通じてやり取りされるファイル数はどの程度を想定すればよいでしょうか。
	回答	付録-5 のとおりです。

質問 3 6

(質問箇所) 仕様書 第 4-1	質問 内容	「基幹業務システム開発業者からの要求があれば, 必要に応じて対象テーブル及びコード等のデータを追加すること。」という記載がありますが, 設計について承認いただいた以降の仕様変更については, 双方協議のうえ, 対応費用及び実施可否を御相談させていただくという認識でよいでしょうか。
	回答	設計後であっても, 契約期間内は, 全て本調達の範囲に含まれます。

質問 3 7

(質問箇所) 仕様書 第 5-1	質問 内容	研修の実施は, 平成 2 8 年 9 月までの間という認識でよいでしょうか。
	回答	運用業者への OJT も含め, 研修の実施は, 平成 2 8 年 9 月末日までに行います。

質問 3 8

(質問箇所) 仕様書 第 3-1-(3)- イ 第 8-1	質問 内容	ア <p>アプリ基盤は 10 年間のサポートが要件として記載されています。これに対し、マイクロソフト社が公開している各製品の延長サポート期限は以下となっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2012 R2 : 2023/1/10 ・ System Center 2012 R2 : 2022/7/12 <p>メーカーとしては、2016 年から起算した場合に 10 年間のサポートを許容していませんが、構築を担当したベンダーが上記製品を含めた実装製品のサポート（パッチの提供やバグフィックス等）を 10 年間保証する必要がありますでしょうか。</p> <p>また、採用が決定しているハードウェアは、実装される OS やミドルウェアのメカサポートが切れた後も、それらの稼働を保障する形となっておりますでしょうか。</p>
		イ <p>本調達の契約期間は、平成 28 年 9 月 30 日までとなっておりますが、導入したソフトウェアのモジュール適用を平成 33 年 3 月まで実施する必要がありますということでしょうか。</p>
	回答	<p>OS のサポートは本調達に含みません。また、ハードウェアに実装する OS のサポートが終了した場合は、最新バージョンの OS にアップデートすることになります。</p> <p>また、本調達で導入するソフトウェアについては、仕様書 8 ページに記載のとおり、アップデート後の OS への対応（モジュールの提供及び適用）も含め、10 年間のサポートが必要要件です。また、OS のサポート終了前にソフトウェアのバージョンアップにより最新 OS が必要となる場合も同様です。</p> <p>なお、モジュール適用のため発生する作業経費については、平成 33 年 4 月以降は、別途、契約を行います。</p>

質問 3 9

(質問箇所) 付録 1 1-1-3	質問 内容	端末の IME を制御する機能は、本調達の範囲外という認識でよいでしょうか。
	回答	端末の IME 制御機能は本調達の範囲外ですが、IME 辞書の作成は本調達に含みます。

質問 4 0

(質問箇所) 付録 1 1-2-1	質問 内容	部首／画数／各種文字コード等は基盤側のみで管理するということが問題ないでしょうか。言い換えると、アプリ基盤のフォントを利用しない既存の業務システム又は今後導入する業務システムの部首／画数／各種文字コード等をアプリ基盤で管理することは求めている、という認識でよいでしょうか。
	回答	今後導入する業務システムについては、アプリ基盤を利用する可能性があるため、当該システムの文字情報をアプリ基盤（文字基盤）で管理する必要があります。ただし、その場合に発生する文字同定又は管理情報の作成作業に係る経費については、本調達に含みません。

質問 4 1

(質問箇所) 付録 1 1-2-5	質問 内容	「TrueType 形式の外字」とは、Windows の外字エディタが出力する形式（拡張子 TTE の TrueType 外字ファイル形式）であるという認識でよいでしょうか。
	回答	拡張子 TTE のファイルを利用します。

質問 4 2

(質問箇所) 付録 1 1-2-6	質問 内容	「1 文字基盤 2-6」は「1 文字基盤 2-5」に包含される要件という認識でよいでしょうか。
	回答	その認識で結構です。

質問 4 3

(質問箇所) 付録 1 1-3-1	質問 内容	「基幹業務システム」とは、汎用機で現在稼働している既存の業務システムを指すという認識でよいでしょうか。アプリ基盤を利用して今後構築される新しい基幹業務システムは京都市 mj 明朝を利用する前提であり、文字コード変換は発生しない認識です。
	回答	オープン化後の基幹業務システムを指します。新たに構築する基幹業務システムが現行の業務システム又は住民基本台帳ネットワークとデータを連携する際に、文字コード対応表を利用します。

質問 4 4

(質問箇所) 付録 1 1-4-1	質問 内容	配信システムは別途用意いただく前提のため、端末に配信された外字ファイル等を OS に登録して有効化する機能は、アプリ基盤の機能要件外という認識でよいでしょうか。
	回答	端末への配信、端末への登録及び有効化に係る機能については、本調達の範囲外です。

質問 4 5

(質問箇所) 付録 1 1-4-3	質問 内容	「1 文字基盤 4-1」の「外字データ等」に「外字の読み及び外字との紐付」に関する情報も含まれているという認識でよいでしょうか。 また、この認識が正しい場合、「外字の読み及び外字との紐付」を端末の IME に登録して有効化する機能はアプリ基盤の機能要件外との認識でよいでしょうか。
	回答	「外字の読み及び外字との紐付」も含みます。また、端末の IME への登録は、本調達の範囲外です。

質問 4 6

(質問箇所) 付録 1 2-2-6	質問 内容	現行のセンタープリンタを利用する印字は、PostScript 形式で行うことを想定していますが、問題ないでしょうか。
	回答	PostScript 形式で行います。

質問 4 7

(質問箇所) 付録 1 2-2-10	質問 内容	オンライン帳票を出力する場合、利用者が利用している端末とプリンタの組み合わせの登録は、本調達の範囲外という認識でよいでしょうか。
	回答	組合せに係る登録は、本調達の範囲外です。

質問 4 8

(質問箇所) 付録 1 2-2-13	質問 内容	「バッチ系帳票とオンライン帳票が一元的に制御できること。」は製品として可能ですが、処理量に応じて帳票基盤システムを分割させていただき、サーバ単位での管理となることは許容いただけますでしょうか。
	回答	同一サーバでの管理を求めているものではありません。

質問 4 9

(質問箇所) 付録 1 2-2-17	質問 内容	オンライン帳票, バッチ帳票の最低限必要な保存期間及びそのために必要となるスプールで確保すべき日数の目安を御教示ください。
	回答	オンライン帳票は 1 日, バッチ帳票は 30 日を想定しています。

質問 5 0

(質問箇所) 付録 1 2-4-5	質問 内容	スプールや PDF 作成結果を同期的に返すことができることについて, スプールした印刷データを PDF 化する場合, アプリケーションに返すタイミングは PDF 化の完了時点ではなく, スプール完了時点の情報で問題ないでしょうか。
	回答	スプール完了時点の情報で問題ありません。

質問 5 1

(質問箇所) 付録 1 3-1-1	質問 内容	「基幹業務システム等への自動ログイン」という記載がありますが, IC カードによる認証は Windows 認証だけではなくアプリケーション認証も必要でしょうか。
	回答	アプリケーション認証には利用しませんが, シンクライアント端末での認証 (セッション切替) 等にも利用します。(付録 1 「3 認証基盤 4 IC カード認証機能」を参照)

質問 5 2

(質問箇所) 付録 1 3-4-1	質問 内容	本調達で利用するクライアント端末はシンクライアントであるという認識でよいでしょうか。または, ゼロクライアント利用の可能性はありますでしょうか。 また, 利用予定の機種名 (型番) を御教示ください。
	回答	シンクライアント端末の詳細については, 現在, 検討中です。また, 利用端末を機種指定のうえ調達することはありません。

質問 5 3

(質問箇所) 付録 1 3-4-5	質問 内容	<p>認証基盤の選択項目として「スクリーンロックの起動」、「強制ログオフ」、「強制シャットダウン」等がありますが、そのほかに追加を考えている項目はありますか。</p> <p>また、本設定はコンピュータ単位での設定を考えていますが、問題ないでしょうか。</p>
	回答	<p>シンクライアント端末のセッション切り替えを想定しています。また、強制ログオフ機能については、ユーザ単位に設定してください。</p>

質問 5 4

(質問箇所) 付録 1 3-4-12	質問 内容	<p>「IC カードごとに期限を設定」と記載がありますが、代替方法 (Active Directory の「アカウントの期限」の設定) を利用することでも対応可能でしょうか。</p>
	回答	<p>対応不可です。AD に保有するアカウントの期限と IC カードの有効期限は異なる場合があるため、別々に設定情報を管理する必要があります。</p>

質問 5 5

(質問箇所) 付録 1 3-4-21	質問 内容	<p>「操作履歴」と記載がありますが、アカウント情報の追加, 変更, 削除といった操作ログを想定されていますでしょうか。</p>
	回答	<p>操作者, 操作端末, 操作時間, 操作対象データ及び操作内容について, ログを取得することを想定しています。</p>

質問 5 6

(質問箇所) 付録 2	質問 内容	<p>アプリ基盤が対応すべき業務システムは、付録 2 に記載されているシステムの内、オープン化完了後のシステムであると認識しています。</p> <p>オープン化完了後の各システムは、Web アプリケーションになるという認識でよいでしょうか。</p> <p>また、Web アプリケーションである、これらの業務システムに対して、アプリ基盤はサービス提供するという認識でよいでしょうか。</p>
	回答	<p>オープン化後の基幹業務システムは、全て、Web アプリケーションとなります。また、アプリ基盤がサービスを提供するシステムは、Web アプリケーションを前提としています。</p>